

振興会だより  
**よしだ**

2014年(平成26年)  
12月19日発行  
第32号  
吉田地区振興会

**吉田地区敬老会の開催**



9月14日(日)午前10時から市民文化センターで、今年も240名余りの敬老者をお迎えし、

め3名の方からご祝辞を頂きました。また今年も101歳の南波博三さんが代表で井上振興会長から記念品を受理され、敬老者代表として小原弘義さんがお礼の挨拶をされました。

敬老会を開催しました。開会式では、8名のゲストをお迎えし、代表として浜田市長をはじめ



楽しい深瀬のひよっこ踊り

開会式の後には、吉田小学校の生徒や吉田保育所・吉田幼稚園の園児らをはじめ、民謡やダンス・歌、更に今年は甲田町の深瀬ひよっこ同好会の皆さんをお迎えし、昨年日本一となられた楽しい踊りを見せていただき、笑いの有る楽しい1日を過ごしていただきました。来年もお元気で、この会場でお会いできることをご祈念申し上げます。

最後になりましたが、敬老会をお世話いただいた実行委員の皆様、ステーション発表していただいた皆様、ご協力いただき誠に有難うございました。心からお礼申し上げます。



会場を笑いの渦に巻き込んだ深瀬ひよっこ同好会の皆さんと一緒に、歌に合わせての体操で背筋や足腰などを伸ばしました。

**自治懇談会のお知らせ**

日時 平成27年2月7日(土)  
午後1時30分から  
場所 市民文化センター2階  
文化ホール

- 1 市政の現状について
  - 2 市民への災害情報の伝達について
  - 3 有害鳥獣駆除対策について
  - 4 消防署前交差点の信号について
  - 5 危険空き家対策について
  - 6 農地等の雑草対策について
  - 7 飼い猫・犬対策について
- など市長とお話します。

今後の行事予定  
1月5日(月) 書き初め大会  
1月19日(月) 健康教室  
2月22日(日) 市民フォーラム  
3月21日(土) 郡山クリーン作戦  
ぼんぼり  
取り付け作業

# 自然災害に対する備え

中国新聞社提供 平成26年8月21日(木)付朝刊



## 自然の猛威 不意打ち

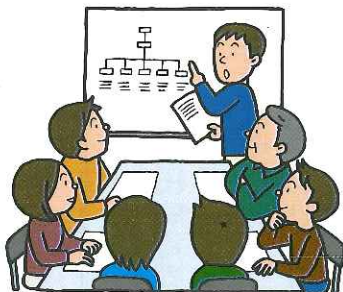


### 『自主防災組織の在り方』 について研修しました

8月20日(水)未明、広島市の大林から八木・緑井地区にかけて大規模土石流災害が発生し74名の方の尊い命が喪われました。

この身近な地域で発生した災害を教訓として、私たちの吉田地区でもいつどこで発生するかわからない災害に対して「自主防災」意識は非常に大切なことだとしみじみと感じたところです。よって、今年度のテーマを

「自主防災組織の在り方」と定め、まちづくりリーダー研修の視察として松江市の法吉公民館を訪ねました。また、吉田町地域振興会連絡協議会の研修も同じ目的で岡山県の備前片上地区を訪ねました。



法吉地区の研修に参加された皆さん

### 「地域の安全・安心は 地域のかで」

まちづくりリーダー研修

10月28日(火)松江市の法吉(ほっき)地区自治会連合会を25名が視察に行きました。研修の概略は次のとおりです。

防災の基本は、災害時に最も頼りになる「向こう三軒両隣」の考えで、地域での声かけや助け合いが非常に大切であるとのことでした。高齢者や身体に障がいのある人など自分の力で避難できるかどうか不安を抱えている人は『おねがい会員』、そ

して近所の人や自主防災組織の人などイザといった時に支援していただける人を『まかせて会員』と定め、それぞれの会員は登録制になっています。ただ、会員登録するには個人情報開示が必要で、これを承諾された方のみになります。しかし、法吉地区ではたくさんの方が登録され、日常に於いても声かけや見守り活動など幅広い交流をされておられます。また、市に於いても転入者に対して自治会への加入促進や活動内容の説明などバックアップをし、行政と地域が両輪となってまちづくりに取組んでおられます。

公民館を拠点とした自治会活動は、定期的な『まかせて会員』の研修や防災訓練・危険個所確認のための自主的な防災マップや防災パンフレットの作成・自転車による地域内と登下校児童の見守り隊活動・会員同士の親睦イベントなど地域をあげての活動がなされており、つくづく「地域の安全・安心は地域のかで」を実感しました。



また、11月11日(火)に吉田町地域振興会連絡協議会で岡山県備前市の片上地区支え合い体制実行委員会を視察しました。

当委員会は平成21年に設立され、日頃からの地域の付き合いや支え合いを基本に防災思想の普及や高齢者等の災害時要援護者の把握、防災リーダー研修・防災実地訓練などを実施され、平成25年度にはこれらの取り組みが評価され防災まちづくり大賞消防庁長官表彰を受賞されま

した。

具体的には、防災や生活面・暮らしの困りごとなどについてのアンケートを全世帯対象に実施し、地区内の課題の取りまとめや災害時に避難のための手助けが必要な人・手助けできる人を調査登録。また、避難場所やトイレ・危険個所などを表示した地区内の地図を作成して各戸配布をされるなど、安全・安心のまちづくりを推進しております。



瀬戸内消防本部で空き缶による簡易コンロの作り方の指導を受けました。

2地区の視察に参加して共通して言えることは、①自主防災意識の向上の為の啓発や②避難場所・危険個所を把握したマップ作り、そして③災害時の支え合いとなるようみんなが常日ごろから太い絆づくりを推進しておられる。ただ、こうしたネットワークづくりにはどうしても「個人情報の開示」が大きな壁になると思うが、安全・安心のまちづくりを築き上げるためには

はみんなで理解し合う必要がある。

### 自然災害に備えて

会長 井上直之

今年も残り少なくなってきましたが、8月に発生した広島市北部の大規模土砂災害の後、全国で短い期間に火山の噴火・台風・地震等の自然災害が頻発しています。災害はいつ、どこで、どの様に発生するか予測できません。そこで自然災害の危機に備えるためには自

助・共助・公助という3種類のを組み合わせることが大切です。自助は個人や家族でする備えのこと。共助は地域の人がどがお互い助け合うこと。そして、公助は行政を中心にした様々な対策のことです。

近年、自主防災組織が各地区において結成され、活動されています。吉田地区に於いても結成に向けて努力がなされており、残念ながら未結

成の地区もあります。大規模災害の発生直後には消防などの公的機関が対応することが困難な場合もあります。こうした場合、被害を最小限に食い止めるには近隣住民の自主防災活動が非常に大きな役割を果たします。実際に阪神淡路大震災では生き埋めや、建物など

に閉じ込められた人の内98%が自力または家族や隣人によって救助されているそうです。

今後、自主防災組織がすべての地域に於いて結成され、まさかの災害発生時の初動体制づくりに効果を発揮され、少しでも被害が少なくできればと期待しております。

来る年が干支の羊のように穏やかな年であってほしいと願っています。

来る年が干支の羊のように穏やかな年であってほしいと願っています。



まちづくりリーダー研修に  
参加して

柳原地区 矢田ゆかり

まちづくりリーダー研修で法吉地区の視察に参加しました。

法吉地区では公民館が主体となり子どもから大人までが安心して過ごせるまちづくりが出来るよう様々な取組をされています。中でも、災害時における地域での支援体制として『おねがい会員(要援護者)』『まかせて会員』と名付け、災害時に要援護者の安否確認と避難所までの誘導、平素の声かけと見守り活動ができる体制づくりに力を入れておられました。豪雨災害で多くの浸水家屋があった際もいち早く『おねがい会員』に対して『まかせて会員』による安否確認が行われ、『おねがい会員』にとって大きな心の支えになったそうです。

住み慣れた地域で安全・安心に生活できるよう横のつながりの大切さを認識し、住み慣れたこの吉田地区が「住み続けたい」町となるための指針を頂いたような気がしました。



災害に備えて!

太郎丸自主防災会

この夏、広島市では豪雨災害により、多数の人的被害を含む甚大な被害が発生しました。安芸高田市内でも被害が有り、いつ起こるか分からない災害の恐ろしさ、日頃から災害が起きた時にどのように対応するか考えておく必要があると痛感しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された方にお見舞い申し上げます。ともに被災地域の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

太郎丸自主防災会では、今回のことから、10月5日(日)、市危機管理課の職員を講師として招いて土砂災害についての学習会を開催しました。

資料により土砂災害についての説明を受け、質疑応答の後、地域内の危険個所の確認を行いました。

気象情報や災害情報を正しく理解・共有し、災害が起こったとき地域で安否確認や避難行動を助け合って行えるよう、災害



市の職員を講師として迎えての防災座学

に備えてどのように行動すればよいかを考え、日頃の訓練を継続していくことが大切であると実感しました。

災害は、いつ自分たちに降りかかってくるかわかりません。

いざというとき地域で助け合っていていくためにも自主防災活動を継続して実践していきたいと思えます。



消防職員や消防団員の指導による土のう作りの訓練

(写真は、平成24年の訓練の様子。)

部会報告

より美しく

より健やかに

女性部



10月20日(月)9時からふれあいセンターいきいきの里に於いて第3回健康教室を行いました。参加者は32名でした。



チューブを使ってのストレッチ体操

最初に、正田陽子健康運動指導士よりストレッチ体操を丁寧にご指導いただき。足ぶみで体を温め、足、肩、腰のストレッチ、ボールやチューブ使って楽しく運動しました。

その後、大下裕美栄養士から成人病予防の講話を聴きました。内容は、①肥満予防 ②バランス食―主食副食を揃える。根菜類を摂る。③塩分控えめ、1

日10グラム以下(来年度より男性7グラム、女性9グラムを目標とする。)等についてです。そして、調理実習をしました。メニューは、和風「ほうはんバーグ、レンコンのキンピラ、きのこの味噌汁です。皆で薄味だが風味豊かな料理をしっかりと完食しました。今回もより美しくよ



出来立てのヘルシー料理です

り健やかに過ごすべく皆が集える幸せを感じながら無事終了することが出来ました。

ほんぼりの点検を

しました



産業観光部

10月19日(日)8時30分から10数人で、毎年桜の咲くシーズンに郡山公園を彩るほんぼり用電気設備の点検を行いました。

LED電球のソケットや電線は、風雨にさらされたりよじれたり、傷み具合がひどく定期的な点検が必要です。

これで、また来年も美しい夜桜が楽しめると思います。



点検作業の皆さん

友愛訪問で

温かいお弁当を

環境福祉部

12月6日(土)に、吉田運動公園調理室に26名が集まり、恒例となっております友愛訪問のお弁



愛情込めたお弁当作りの皆さん

当作りをしました。お弁当は、一つ一つ丁寧に210食余り仕上げ、行政区委員さんの手によってお年寄りの家庭に声を掛け合いながらお配りしました。毎年、大変喜んでいただいています。  
・ ・ ・  
どうぞ、お元気で良いお正月をお迎えください。・ ・ ・



ゴルフ大会の報告

体育部

9月28日(日)に吉田中学校で第19回吉田地区グラウンドゴルフ大会が11チームの参加により開催されました。平素の実力を発揮し頑張った結果が次とおりです。なお、上位8チームが吉田町チャンピオン大会に出場しました。

- 団体の部
- 第1位 郡山B
  - 第2位 五丁目1組
  - 第3位 川向
  - 第4位 西土手
  - 第5位 上迫
  - 第6位 三矢タウン
  - 第7位 一丁目1番地
  - 第8位 郡山A
- 個人の部 男 女
- 第1位 杉屋久行 大中由紀子
  - 第2位 河野隆三 竹広次子
  - 第3位 藪本利昭 田島トヨコ
  - 第4位 隅田克良 倉本八重子
  - 第5位 河野勝行 橋野富士子

この結果をもって、11月16日(日)に土師ダムコースに4地区の振興会代表が集結し、チャ

ンピオン大会が開催されました。しかし、8チーム参加した吉田地区代表は入賞することが出来ず、残念な結果となりました。



熱戦を繰り広げた吉田地区大会

ボランテアアロード作業

環境福祉部

今年度2回目のボランテアアロード整備作業に伴う花の植栽を11月13日(木)に行いました。

午前中に振興会のメンバー10人でバスセンター北入口交差点の花壇にパンジーの苗150株植え、午後はJA本所前の国道沿いにある3ヶ所の花壇に吉田高校アグリビジネス科1年生9人と

振興会メンバー15人が力を合せパンジーの苗750株を植えました。

パンジーは寒さに強く、可憐な花は春先まで道行く人々の心を和ませてくれるでしょう。



パンジー植栽に参加された皆さん

編集後記

広報の中で記述したとおり、自主防災活動について2地区の視察研修に参加した。

普段から「避難場所や危険個所の確認など心の準備をしておきましょう。」とか「平素から

非常時の必需品を準備しておきましょう。」と言われるが、災害は「いつ」へどこで「へどのように」起こるか分からないのでなかなかピンとこない。しかし、災害に遭えば「ああ」とけば良かった」と、いうことになる。

吉田地区でも8年前前の大水で、川手の多治比川の土手が越水し、浸食された。直ぐに対応されたが、もし気が付くのが遅かったら川手から大浜にかけて軒下くらいまで水に浸かっていたかもしれない。想像しただけでもゾッとする。「お助けフォンがないから」「テレビの音でサイレンが聴こえなかった」「誰も言ってくれず、知らなかった」などと言っても命を亡くしたり怪我をしたりしては何にもならない。

安佐北区で起きた大災害を教訓に、地域のみならず自主防災活動を自分のこととして考え直さなければいけないと強く感じた研修であった。

来年もよろしく願います。  
今田基良